

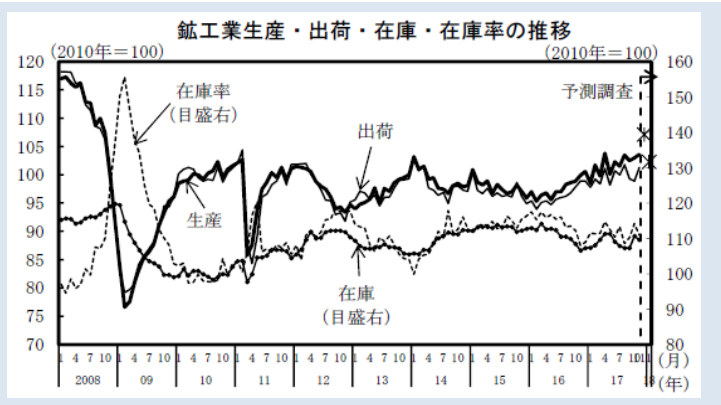
今月の経済動向（平成30年1月）

● 月例経済報告

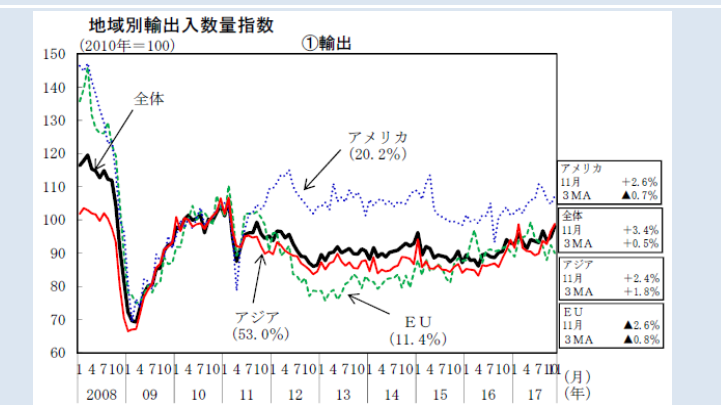
<p><b>基調判断</b></p>	<p>(1月) 景気は、<u>緩やかに回復している</u>。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、<u>緩やかな回復が続くことが期待される</u>。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(12月) 景気は、<u>緩やかな回復基調が続いている</u>。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、<u>緩やかに回復していくことが期待される</u>。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(1月) <u>持ち直している</u>。</p> <div data-bbox="699 421 1356 801"> <p style="text-align: center;">消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div> <p>(12月) <u>緩やかに持ち直している</u>。</p>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(1月) <u>緩やかに増加している</u>。</p> <div data-bbox="715 831 1340 1218"> <p style="text-align: center;">製造業・非製造業の設備投資（実質）</p> </div> <p>(12月) <u>緩やかに増加している</u>。</p>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(1月) <u>このところ弱含んでいる</u>。</p> <div data-bbox="703 1240 1345 1628"> <p style="text-align: center;">住宅着工戸数（季節調整値）</p> </div> <p>(12月) <u>このところ弱含んでいる</u>。</p>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(1月) <u>着実に改善している</u>。</p> <div data-bbox="699 1650 1350 2038"> <p style="text-align: center;">雇用者数、就業者数の推移</p> </div> <p>(12月) <u>改善している</u>。</p>

月例経済報告：内閣府

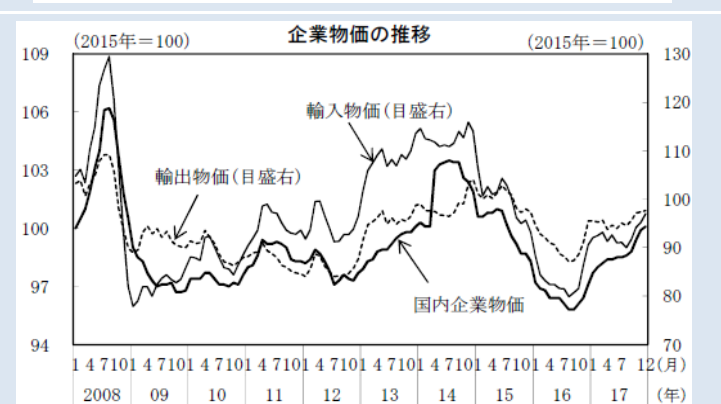
生産  
(1月) 緩やかに増加している。  
(12月) 緩やかに増加している。



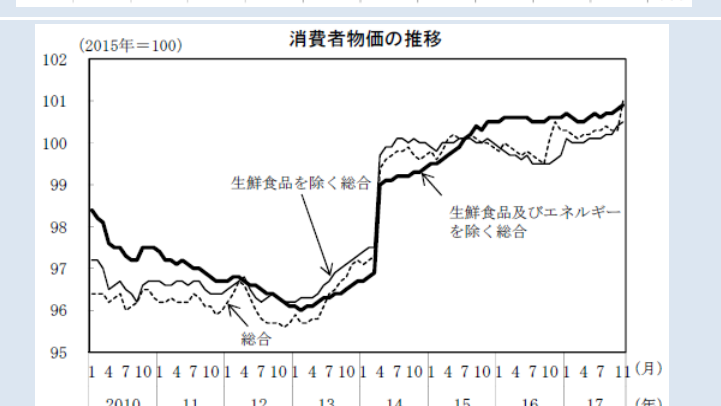
輸出  
(1月) 持ち直している。  
(12月) 持ち直している。



国内企業物価  
(1月) 緩やかに上昇している。  
(12月) 緩やかに上昇している。



消費者物価  
(1月) 横ばいとなっている。  
(12月) 横ばいとなっている。



海外経済  
(1月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。  
(12月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。

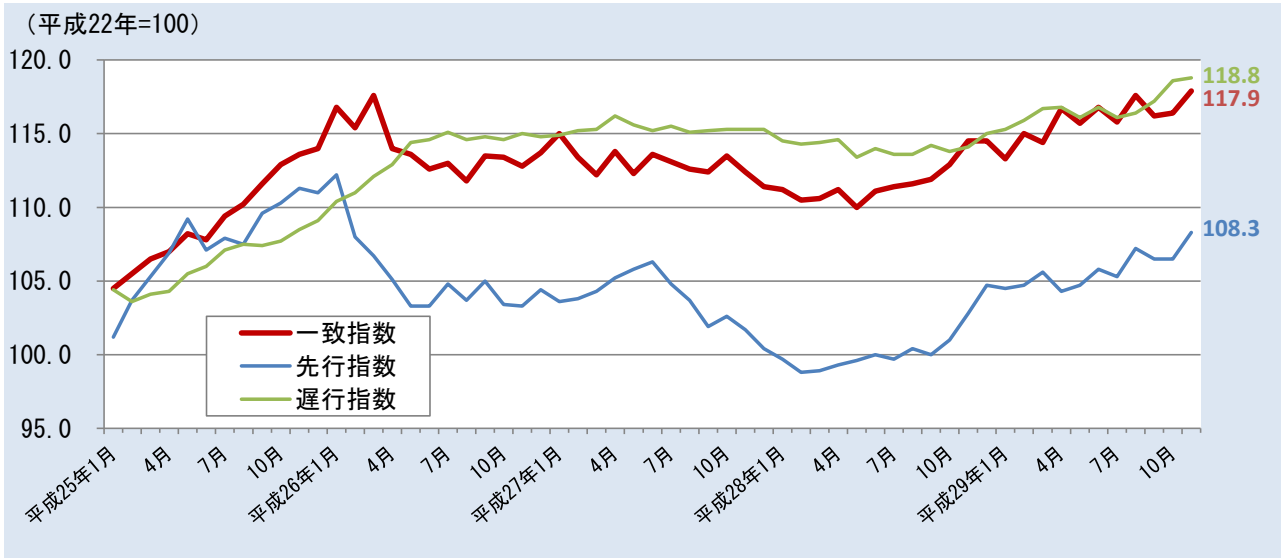
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成29年11月・改訂値）

平成29年11月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.5ポイント高い117.9ポイントとなった。  
 CI先行指数は前月より1.8ポイント高い108.3ポイント、遅行指数は前月より0.2ポイント高い118.8ポイントとなった。  
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。

※CI遅行指数は算出に用いるデータが一部遡及改訂されたため、平成29年10月の値が遡及改訂された。  
 このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)